**言語の壁を越える「働き方」の一つの指針：**

**Contextual Sensitivityを「見える化」する適正テスト**

みなさんの外国語運用能力の双方向性を確認する「適正テスト」を実施します。

学習外国語から母語へ、母語から学習外国語への翻訳・通訳する「双方向運用能力」をバランスよく身に付けることは重要と考えます。Contextual Sensitivityは「文脈を汲み取る感受性」のことです。

この度はISOコミュニティー通訳認証の一環として実施します。その通訳認証については別途説明があります。他言語・日本語についてバランスの測定テストとして「適正テスト」を下記により実施します。以上の趣旨を自覚する意味でこの機会を活用して受検をご案内します。 みなさんのご参加をお待ちします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

■受検問題の内容　　[SDGｓに関わるもの＋観光]

※SDGsとは

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目・標）」の略称です。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

■受検問題

●監修
　　　　　印南敬介　ナレッジキャピタル「総合プロデューサー首席補佐」

大阪大学「医療通訳養成コース」講師
　　　　　藤野美香　メディカ出版　保育社　チーフディレクター

　　　　　　　大阪大学「医療通訳養成コース」教科書主幹編集

　　●作成　印南敬介・林田雅至・相場美紀子(大阪大学全学共通機構中国語講師)

制作責任：林田雅至　大阪大学COデザインセンター「社会イノベーション部門」教授

■会場　　Zoom(大阪大学)

■日時　　令和3年3月27日(土) ポルトガル語：10：00～11：30；英語：13：00～14：30；中国語：15：00～16：30（各90分）

■受検料金　　無料

■成績は各自個別に連絡します。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

主催：公益財団法人大阪公衆衛生協会（<http://www.osaka-pha.or.jp/>）

**Contextual Sensitivityを「える」する**

**：2021327 (土)，時間帯：各言語で異なる　(Zoomより)**

**：Zoom ()**

**のとおりしみます**()**。**

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※がなのためにをしてください。

※： ()

いわせはにください。ido@osaka-pha.or.jp

 ()のは「」までいします。

なおいただくはにし，にえいすることはしてありませんので，ごさい。にをください()：，，

：

1. ：,などをに．
2. あるいは()：，などをに．
3. のについて(：えば，からなど)もみ，(から)，(から)などをのこと．

()：

1. N１（2016年）
2. ポルトガル語B2(2011年)
3. 英語学習6年（2009～2014年：海外でインターナショナルスクール小中卒），スペイン語学習1年（2018年：ワーキングホリデー：勤労学生）

|  |
| --- |
| 《》 　-　　  　e-mail:ido@osaka-pha.or.jp |

：

のための「」(20210327)：

・にからをかけ，ねにまるようにする：

1. **はあって，にでする．**
2. ，あるいはを(，ってゆっくり，)，はきでもPC上でも，ヒアリング言語でも母語でもよいので，・をなう.
3. は，の・(の)にづいて，された「Ⅰ」によって， の・Ⅰにする．でをなうで，のきった(き)にってしなさい．きったの「」になり，だけをめるしたではありません．
4. に「Ⅱ」をし，の・にづいて， の・Ⅱにする．b)，でをなうで，のきった(き)にってしなさい．の「の」をうもので，だけをめるしたではありません．
5. このがりされる．
6. なおごとに のをするときしはそのとなります．さい．

**また「」はしない．**